

## 平成26年度事業実施概要

### 依存症当事者及びその家族への専門的な相談、治療者及び回復支援について

#### ① 依存症チームの活動

- ・ 医師4名、看護師22名、精神保健福祉士1名、作業療法士2名が中心となって患者、家族の電話相談、インテーク、外来・入院治療などに対応した。
- ・ 依存症チーム外来診察は、4名の医師により週3回行った。  
なお、新患枠は、週6枠、家族相談は週1回行った。
- ・ 入院治療グループプログラムは、認知行動療法を週4回、運動療法を週2回行った。必要に応じて個別プログラムも行った。
- ・ デイケアグループプログラムは、認知行動療法を週4回、運動療法を週2回行った。  
必要に応じて個別プログラムも行った。
- ・ ミーティングは、アルコール依存症関連を週3回、薬物依存症関連を週1回、ギャンブル依存症関連を週1回、女性ミーティングを週1回行った。
- ・ 家族向けグループプログラムは、月4回行った。必要に応じて個別プログラムも行った。
- ・ 退院前訪問及び訪問看護を行った。

#### ② 地域連携班の活動

関連機関からの受診相談、家族相談、治療予約などを行った。

### 県内の精神科医療機関への助言・指導

- ・ 他の精神科医療機関、身体科病院からの患者の受入れ、助言を積極的に行った

### 関係機関（精神保健福祉センター、保健所、市町村、自助団体、福祉事務所、保護観察所、公共安定所等）との連携推進

#### ① 委員、アドバイザーとして各種会議に出席

- ・ 岡山県覚醒剤等薬物乱用対策推進本部本部会出席
- ・ 平成26年度薬物依存からの回復のための岡山県地域連絡支援協議会出席
- ・ 岡山市職域依存症対策推進事業評価検討会出席（計7回）
- ・ 平成26年度岡山市依存・嗜癖関連問題対策審議会出席
- ・ アルコール依存症早期支援ネットワーク会議出席（計4回）
- ・ 平成26年度岡山アルコール依存症予防回復ネットワーク運営会議出席
- ・ 平成26年度薬物中毒対策連絡会議出席
- ・ 岡山保護観察所引受人会講師「薬物依存症について」（計8回）
- ・ 岡山保護観察所との「刑の一部執行猶予に関するモデル事業」連携

#### ② 講師派遣

- ・ 岡山県精神保健福祉センター主催平成26年度アルコール関連問題専門研修講師「女性と依存症」
- ・ 瀬戸内市在宅医療多職種連携研修会講師「依存症について」
- ・ 備北保健所管内精神保健連絡会議講師「身近なアルコール問題と地域支援のあり方」
- ・ 平成26年度アルコール依存症支援者専門研修講師「アルコール依存症の支援と理解」
- ・ 平成26年度依存症家族研修講師「依存症の家族支援の実践体験学習」

・平成 26 年度岡山市薬物依存基礎研修講師

③ 事業実施協力

・岡山市こころの健康センターのモデル事業協力

**医療従事者、関係機関職員、依存症当事者及びその家族等に対する研修の実施**

① 当センター主催した研修会あるいは受け入れた見学・実習等

- ・マトリックス研修開催
- ・高松矯正管区刑事施設職員研修「医療機関における依存症治療の現状について」
- ・岡山保護観察所見学受け入れ「STEM 見学」
- ・岡山保護観察所見学受け入れ「ひだまりの会（家族プログラム）見学」
- ・四国少年院見学受け入れ「ポケットトーチ見学」
- ・保健所保健師実習受け入れ（岡山県、岡山市、倉敷市）
- ・マトリックスモデル研修（H26.11.8、9）
- ・岡山動機づけ面接研修会（H27.3.22）

② 他機関主催の研修会等への協力

（中国四国アルコール関連問題研究会）

- ・第 32 回中国四国アルコール関連問題研究会開催
- ・第 32 回中国四国アルコール関連問題研究会シンポジスト

「アルコール健康障害対策基本法が成立してどう変わっていくのか・どう変えていくのか」  
（製薬会社）

- ・第 4 回アルコール依存と併存症を考える会座長

（医療従事者）

- ・第 28 回岡山県栄養改善学会講師「栄養士が知っておくアルコール問題の介入方法」

**依存症当事者及びその家族、地域住民等への普及啓発**

① マスコミ取材

- ・毎日新聞社高松支局取材対応「危険ドラッグの治療」
- ・朝日新聞東京本社取材対応「ギャンブル依存症について」
- ・山陽新聞社社会部取材対応「危険ドラッグについて」
- ・KSB 瀬戸内海放送取材対応「危険ドラッグについて」
- ・OHK 取材対応「脱法ドラッグについて」
- ・NHK 取材対応「薬物依存症について」
- ・RSK 取材対応「依存症について」

② 講師派遣

- ・和気中学校薬物乱用防止教室講師「依存症について」
- ・天城中学校薬物乱用防止教室講師「依存症について」
- ・岡山県立大学特別講義講師「入院中の薬物療法」
- ・平成 26 年度こころの健康づくり県民講座講師「私たちを取り巻く身近なアルコール問題」
- ・NSP 公開合同研修会講師「依存症について」

## その他依存症対策に必要な事項（事務局、研究協力、発表等）

### ① 事務局、実行委員など

- ・岡山県アルコール関連問題研究会事務局
- ・中国四国アルコール関連問題研究会事務局
- ・平成 27 年度アルコール・薬物依存関連学会岡山事務局
- ・第 25 回日本嗜癖行動学会実行委員

### ② 研究協力

- ・厚生労働科学研究「アルコール依存症の治療・社会復帰に関する社会資源情報の作成」班員
- ・厚生労働科学研究「WHO 世界戦略を踏まえたアルコールの有害使用対策に冠する総合的研究」班員
- ・厚生労働科学研究「アルコール依存症患者の生きづらさの多施設研究—信頼感とストレス対処能力—」班員
- ・厚生労働科学研究「アルコール依存症の早期発見・早期治療導入に関する研究」班員

### ③ 発表、事例提供など

- ・第 7 回アルコール専門研修「40 歳女性 肝不全状態を数年続けながらも禁酒できた事例」
- ・第 110 回日本精神神経科学会学術総会  
「アルコール依存症入院治療における行動変容ステージモデルの導入意義について」
- ・第 36 回日本アルコール関連問題学会  
「軽度知的障害を疑った女性依存症者の支援について」
- ・第 36 回日本アルコール関連問題学会  
「岡山県精神科医療センターにおける依存症病棟のルール変遷について」
- ・第 36 回日本アルコール関連問題学会  
「アルコール依存症の入院治療に必要とされる治療的環境」
- ・第 32 回中国四国アルコール関連問題研究会  
「アルコール依存症者へ退院後訪問」
- ・The 16th International Society of Addiction Medicine Annual Meeting  
「The clinical application of motivational interviewing in Okayama Psychiatric Medical Center」
- ・The 16th International Society of Addiction Medicine Annual Meeting  
「Pathological Gambling in Japan」
- ・The 16th International Society of Addiction Medicine Annual Meeting  
「Current conditions and treatment of prescription drug abuse in Japan」
- ・第 21 回関西アルコール関連問題学会「SNAPPY について」
- ・第 21 回関西アルコール関連問題学会  
「岡山県精神科医療センターにおける依存症プログラムについて」
- ・全国自治体病院協議会精神科特別部会第 52 回総会・研修会  
「薬物依存症に対する治療と看護の現状」
- ・第 4 回アルコール依存と併存症を考える会「エルカルチンの使用経験について」
- ・日本精神保健看護学会論文投稿  
「アルコール依存症医療にやりがいを持つメディカルスタッフの依存症に対する陰性感情の変容プロセス」